

行政に頼らない感動の地域づくり！

「行政に頼らない地域づくり」で全国から注目の鹿児島県鹿屋市の柳谷集落（通称やねだん）を訪れ、平成8年から町内会長として地域づくりに取り組まれている豊重哲郎さん（82歳）から、講話や現地での説明などを受けました。

【総務教育常任委員会 委員長 宮川徳光】

◆住民自治による地域再生

「地域でできることは地域で行う」の理念と、「人は宝・人材」とした一人ひとりを地域づくりの重要な財産との位置付のもと、住民が活動に自主的ボランティアで参加しているとのこと。

就任当初3年間は、住民に説得ではなく納得してもらうため、「目配り、気配り、心配り」をモットーに忍耐・我慢で粘り強く働きかけ、冒頭の住民自治の理念が住民に浸透したとのこと。

◆自主財源確保

補助金に依存すると制約も多く、自立心が失われ、真の地域再生のためにならないと勇断。カライモ・芋焼酎（商品名やねだん）・土着菌・トウガラシ等の生産加工品による自主財源作りを進めています。財務力は最後の「決め手」とのこと。

当初の事業として、20アールの荒れ地を手弁当で8カ月かけて「わくわく運動遊園」を住民手作りで整備したとのこと。



わくわく運動遊園内にある活動案内パネル館にて豊重会長から説明をうける



豊重会長の土着菌説明を

◆還元の取り組み例

○高齢者の福祉対応

- ・緊急警報器設置、足腰弱者にシルバーカー貸与
- ・85歳以上の高齢者に、毎年1万円ボーナス支給
- ・健康寿命対策に転ばん体操を毎土曜日のサロン会で開催。

○青少年育成対応として寺小屋を開講

- ・小中学生対象にさまざまな教材の発見など、塾は20年余り継続し、大好評とのこと。
- ・14歳以下を対象とした集団ピアノ教室も開催しているとのことでした。

～知覧特攻平和会館にて～

鹿児島県南九州市知覧町郡

平和学習を

「第二次世界大戦末期の沖縄戦において特攻という人類史上類のない作戦で、爆装した飛行機もろとも敵艦に体当たり攻撃をした陸軍特別攻撃隊員の遺品や関係資料を展示している「知覧特攻平和会館」を訪れました。



スクリーンを使っの「語り部」のお話には、大きな説得力が…



⑤ 知覧特攻平和会館
⑥ 知覧町護国神社
⑦ 「零戦」の展示物